

2013年5月8日より、これらの東北コットン商品はJALのマイルから交換いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。
www.jal.co.jp/jmb/cotton/



長く愛用してほしいから、着回しのきくデザインにしました

●JALオリジナル・コットンカーディガン
(ユナイテッドアローズ グリーンレーベルリラクシング)
気軽に着られる上品なコットンカーディガン。メンズMサイズ / Lサイズ、レディースFreeサイズ。

JALの新制服にちなんで濃紺と赤のボーダー。グリーンレーベルリラクシングで販売されている色違いです。

昨年も大好評だった、やさしい風合いのタオルです

●タオル(天衣無縫)
東北コットンプロジェクトのシンボルマークをあしらったミニタオルとバスタオル。この他、フェイスタオル、ウォッシュタオルも。



2013
4月~5月、
製品完成!

生地をやわらかさとデザインの可愛らしさを出すことにこだわりました

●JALオリジナル・ベビーグッズ(天衣無縫)
ベビーボンチョ、スタイ、くるくる丸めるとパペットになるミニタオル。この可愛らしさ、プレゼントにも最適です。

シルクのような手触り。しかも綿100%なので自分で洗うこともできます

●JALオリジナルデザイン・ポケットチーフ(高澤織物)
JMBカードフェイスをモチーフにしたポケットチーフ。いつものスーツにアクセントを。



2012.05.19
種まき

東北コットン
TOHOKU
COTTON
PROJECT

「たくさんの方の
ありがとうございます」を紡ぎました。
2年目の東北コットンです。

東日本大震災の津波によって稲作などが困難になった水田に綿を植え、復興をめざす「東北コットンプロジェクト」。育った綿から生まれる製品群は、今、世に出るのを待っています。

2012.09.15
花見の会
&草取り



2012.11.17
収穫祭

生産者からのメッセージ

綿栽培の技術は蓄積されましたが、今期は栽培面積が広くなり、害虫や雑草の苦勞もありました。総計1500名にも達したボランティアさんの助けもあり、それを乗り越え、収穫にこぎつけました。製品は本当にすばらしいもので、100%オーガニックならはだと感じました。何よりも、うれしかったのは、いろいろな方にお会いでき、刺激を受けたことです。そして2年間実行して、農業の自主再建の方向付けができたことに感謝しています。

◆(株)荒浜アグリパートナーズ
代表取締役 渡邊静男さん



東北コットンプロジェクト



www.tohokucotton.com

2011年に始まった東北コットンプロジェクトは、綿の栽培、紡績、商品化、販売を参加各社が共同で展開し、農業を通じて東日本大震災の復興を目指す計画です。被災地の農業生産組合、農業法人やアパレル関連企業の有志が集結し、種まきから草取り、収穫へと試行錯誤しながら綿を栽培しています。2年目に収穫された綿を使い、各社が東北への想いを込めてさまざまな商品を展開します。

2013年も続きます!

3年目を迎える東北コットンプロジェクトでは、今年も、真っ白な綿畑をめざして種まきが始まります。種まきは初夏、5月中旬以降の予定です。

今年、このプロジェクトは、単に綿の栽培に留まらず、商品化から販売のサイクルを作り、新しい地場産業づくりをめざしています。「原料の綿から糸になり、生地ができ、最終製品になるまでのすべてのプロセスに関わり、お客さまにお届けできるのは日本の繊維業界にとって画期的。それにより、ささやかながら被災地の復興支援の一翼を担えたのは大きな喜びです」と天衣無縫(株式会社新藤)の藤澤徹さんは振り返ります。

今年、このプロジェクトは、プロジェクトメンバー各社がさまざまな商品を展開。その一つであるポケットチーフを製作した高澤史納さん(高澤織物株式会社)はこう語ります。「この商品は、東北コットン2%、米国産オーガニックコットン98%を使用しています。プロジェクト発起人の一人でもある大正紡績様に作っていただいた特別に細い糸で、シルクのような風合いに織り上げました」。

日常的な商品に東北コットンを用いることで、社会への貢献を無理なく継続できることを世に知ってもらい、多くの人の幸福をめざして力を尽くしたいという高澤さんの気持は、プロジェクト関係者全員に共通するものです。

さらなる復興支援と地域再生をめざし、今年も間もなく3年目の種まきが始まります。

